

灘中校長室だより 令和8年4月27日

みんな元気Da

TEL : 0827-32-0211 Fax : 0827-32-0214

E-mail : nada-j@iwakuni.ed.jp

～地域を愛し、地域からも愛される、活力と感謝のあふれる学校～



この度、岩国市立灘中学校校長を務めることとなりました 河村 泉 と申します。歴史と伝統のある灘中学校に赴任した責務の大きさを自覚するとともに、皆様とのご縁を大切に、誠心誠意、教育活動に取り組んでまいります。

春休み中、地域で催された行事に参加させていただきました。そこには、神事で舞を奉納したり、太鼓をたたいたりする生徒、出店のボランティア活動で児童のお世話をする生徒、また、吹奏楽部が演奏披露をする様子を見ることができました。いずれの生徒も一生懸命取り組んでおり、他者のために、地域のために力を尽くそうとしている思いが伝わってきて、胸が熱くなりました。また、長年朝の交通指導に当たっていただいたり、出会う方に気持ちよく挨拶を返していただいた上、「先生、頑張っ！」という励ましの声をかけていただいたり等、繋がりの強い温もりのある地域だということを感じています。本校の学校スローガンは「好きです 灘！」です。そのような出会いを通して、一気に、ここ、灘地域が好きになったところです。

4月8日、うららかな陽春のもと新学年がスタートいたしました。

朝一番、生徒昇降口に掲載した新クラスの発表を見た生徒たちの歓声が、校長室まで響いてきました。春休み中、人氣が少なく寂しかった校舎は一気に息づき、私のワクワク感にも一層拍車がかかりました。学校生活がスタートしてみると・・・爽やかな先手挨拶、笑顔を添えての会釈、体育の授業での爆発的なエネルギー等々・・・子どもたちの、なんと明朗快活なこと！一方、授業では、教師の指

示や説明をよく聞き、真剣な表情で落ち着いて授業に向かう姿がどの学級においても見られます。

さて、始業式や入学式において、生徒に「こんな学校・生徒になってほしい」ということを2つのキーワードにして伝えました。最初は、「活力」です。その時・その瞬間に、自分が為すべきことに全力で取り組むこと、意味や目的を考え取組の質を高めること、一日一日を大切に、丁寧に生活すること等、そのような態度や心構えの中に、必ず「活力」は存在します。また、次に伝えたことは、「感謝」です。私たちは、さまざまな人や物に支えられて生きています。人は一人で生きていくことは不可能であり、誰かと関わりながら生きていく中で、人生をより豊かにしていけるものだと思います。そのような考え方をすると、私たちのまわりには、さまざまな感謝があふれていることに気づかされます。

「感謝の数だけ、人は優しくなれる」

「感謝の数だけ、人は強くなれる」

「感謝の数だけ、人は幸せになれる」

生徒には、たくさん感謝にあふれた中学校生活を過ごしてほしいと思っています。

以上のことを踏まえ、今年度の灘中学校の教育目標を、次のように掲げました。

「地域を愛し、地域からも愛される生徒の育成」

～活力と感謝のあふれる学校をめざして～

ご家庭や地域の皆様との繋がりを大切に、生徒の学びと成長を確かなものにしていきたいと考えております。今年度も、どうか皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。